

保護者 各位

「北山東部小よりよい教育環境づくりアンケート」の結果について

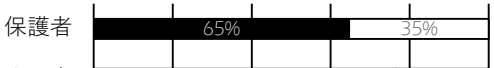
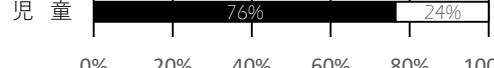
佐賀市立北山東部小学校  
校長 宮原 孝子


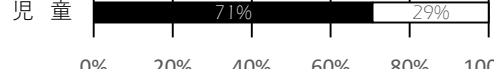
1学期末に実施した標記調査については、ご協力いただき、誠にありがとうございました。結果については以下のようにご報告いたします。


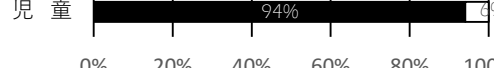
- 令和2年7月実施  
 上段:本校保護者対象 ( 回答数 17 )  
 下段:本校児童対象 ( 回答数 17 )

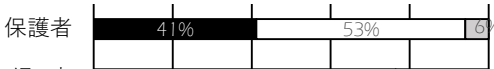
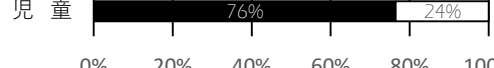
- グラフの項目  


- 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合の合計で、90%を◎、70%～89%を○、70%未満を△としています。
- 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計で、90%に満たなかった設問について、考察を記載しています。

No.	【学力の向上】	結 果	7月 → 12月
1	学校は、授業の工夫や家庭学習の取組を通して、子供に学力をつけようとしている。	保護者 	◎ → 100%
	学校の勉強は、よく分かる。	児 童 	◎ → 100%

No.	【ふるさとを誇りに思う教育の推進】	結 果	7月 → 12月
2	学校は、郷土のよさについて学ぶ学習に取り組んでいる。	保護者 	◎ → 94%
	北山東部小学校区(地域)のじまんを2つ以上言うことができる。	児 童 	◎ → 100%

No.	【いじめ防止】	結 果	7月 → 12月
3	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、子供たち一人一人に寄り添った対応をしている。	保護者 	◎ → 94%
	学校は、たのしい。	児 童 	◎ → 100%

No.	【安全に関する資質・能力の育成】	結 果	7月 → 12月
4	学校は、安全指導や避難訓練等を通して、子供たちに自分の命を自分で守るための力をつけようとしている。	保護者 	◎ → 94%
	『自分の命は自分で守る』ために考えながら行動することができる。	児 童 	◎ → 100%

No.	【学力の向上】	結 果	7月 → 12月
5	お子さんは、授業中、自ら進んで学習したり、自分の考えを発言したりしている。	<p>保護者 18% 65% 18% 児童 53% 47%</p>	○ → 82%
	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。		◎ → 100%

➡ 本校では、これまでソーシャルスキルトレーニングを取り入れて、多様な人たちと上手に人間関係を築く力を伸ばしてきました。今年度は、その力を学力向上に生かす取組をしています。全職員一丸となって、複式授業におけるガイド学習や全ての授業における話し合う活動の充実を図り、子供たちの主体的・対話的に学ぶ力を伸ばしているところです。自分たちで進めるガイド学習や話し合う活動で成長が見られた1学期でした。場や人数に関係なく、自分の意見を発信しながら、人と協働して課題解決ができる子供たちを目指しています。

No.	【心の教育】	結 果	7月 → 12月
6	お子さんは、友達と仲良くし、思いやりの心が育っている。	<p>保護者 24% 71% 6% 児童 88% 12%</p>	◎ → 94%
	自分も友達も大切にしている。		◎ → 100%

No.	【あいさつ】	結 果	7月 → 12月
7	お子さんは、いつでも、どこでも、だれにでも自分から先にあいさつをしている。	<p>保護者 47% 47% 6% 児童 41% 59%</p>	△ → 47%
	いつでも、どこでも、だれにでも自分から先にあいさつしている。		◎ → 100%

➡ 児童と保護者様の意識の差が見られます。これは、朝の登校時に教職員に対してよくあいさつができていた児童の意識、それ以外の時や場所、相手のときはもう少しとみる大人との意識の差だと考えます。本校は、あいさつが上手な子が多いのですが、まだ教えなければいけないこともあります。2学期は、「だれにでも」という点に重点をおいて指導していきます。家庭、地域、学校で大人が手本となったり、あいさつの大切さを教えたりしながら、ますますあいさつ上手の子供たちに育てていきましょう。

No.	【読書・家庭学習】	結 果	7月 → 12月
8	ご家庭では、家庭学習や読書の習慣が身につくよう努めている。	<p>保護者 12% 71% 18% 児童 76% 24%</p>	○ → 82%
	図書館の本を年間100冊(1・2年生150冊)以上を目指して読んでいる。		◎ → 100%

➡ 家庭学習の習慣化は、学力向上には不可欠です。家庭学習を習慣化することで、自主性やがんばりぬく力が高まったり、様々な分野への興味関心が深まったりします。2学期は、家庭での自主学習をさらに充実させるための取組を工夫していきます。ご家族が協力して、学習や読書に向かう雰囲気をつくっていただければと思います。1学期に配布した「家庭学習の手引き」もご活用ください。

No.	【学校教育目標】	結 果	7月 → 12月
9	学校教育目標(3つの目標)を知っている。	<p>保護者 18% 53% 18% 12% 児童 53% 47%</p>	○ → 71%
	学校の3つの目標が言える。		◎ → 100%

➡ 学校と家庭が共に手を取って、子供たちを育てるうえで、学校教育目標の認知度はとても重要になってきます。北山東部小学校 3つの目標は、①**すすんで学習** ②**心と体をきたえて何事にもチャレンジ** ③**自分も友達も大切に** です。学校だよりに加えて各学級の学級通信にも毎掲載していきます。学校、保護者、地域一体となって、変化の激しいこれからの時代を生きていくために必要な上記①②③の3つの力を身に付けた子供たちを育てていきたいと考えております。今後ともご協力、よろしくお願いいたします。

No.	【特色ある教育の推進】	結 果	7月 → 12月
10	やまばと山村留学や全校剣道は、学校、保護者、地域が連携した魅力ある教育活動となっている。	<p>保護者 47% 35% 18%</p> <p>児童 94% 5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	○ → 82%
	【地元っ子】やまばと山村りゅう学(短期りゅう学、長期りゅう学)で、校区外や県外の子供たちとふれ合うことは、自分のためになっている。		◎ → 100%
	【留学生】やまばと山村りゅう学で、北山東部小学校で生活したり、地元っ子とふれ合ったりすることは、自分のためになっている。		

やまばと山村留学は、留学生を受け入れることによって、より多様な友達との交流に刺激を受けたり、様々な教育活動が活性化したりする子供たちにとって重要な取組となっています。山村留学制度の今後の在り方につきましては、先日の実行委員会でも話題に上がりましたように、ここから共に議論を重ねて持続可能かつ目的を明確にした取組としていかなければならないと考えます。

■自由記述では、学校に対する温かい評価やお子さんの着実な成長の様子をたくさん書いていただきました。ありがとうございました。ここでは、ご質問、ご要望、お気付きに対する回答を載せています。

○あいさつは、コロナになってマスクをしているせいか、元気にあいさつしてくれなくなった気がして残念です。

→確かに、そのような面が見うけられます。元気なあいさつを北山東部小の宝の一つとして残していくために、継続して声掛け、指導をしていきます。上記、設問7の考察をご覧ください。

○今年度は、意見を出したら、すぐに対応してくださり、真摯に受け止めていただけただけで期待しています。

→学校にお知らせいただきましたご質問、ご意見、ご要望、お気付きにつきましては、その日のうちにご連絡し、お答えするするようにしています。また、お子さんの学校でのトラブルや気になる様子も、その日のうちにお伝えするようにしています。本校教育活動について、ご質問、ご要望、気になる点等ございましたら、いつでもご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

○コロナウィルス感染症拡大により学校行事が中止、縮小でさみしいですが、先生、保護者、子供達と連絡を密に、どうぞよろしく願います。

→新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の見えない状況です。これからの行事も形は変わってもそれぞれの行事の目標を達成したり、子供達が充実感や満足感を得られたりするように子供たちの思いを聞きながら工夫を重ねていきたいと思えます。また、各行事の変更点や趣旨につきましては、保護者の方に丁寧にお知らせしていくよう努力いたします。